

みんなが大好きな「わんぱく山」！

鹿本小学校の運動場の南側に「わんぱく山」があります。この「わんぱく山」は、鹿本小学校開校当時からあり、主に低学年の子どもたちが上に登ったり、土管の中に入ったりして遊んでいました。しかし、年々土管の上にある土が風雨に削られ、土管の上の方が見えるまでになっていました。

このことを、昨年度の学校運営協議会で話題にしましたところ、学校運営委員の栗川亮一様が、「一法師工業の社長さんに相談してみてもはどうですか？」と言われ、社長様を紹介していただきました。

一法師工業の一法師康社長に、この相談をすると、鹿本小学校の子どもたちのためにということで、無償で、会社の機材等を使って土をかぶせて、固めていただきました。4月には、工事は終わりましたが、土が固まるために4月から6月は使用を控えていました。

7月には、土が固まり、子どもたちが自由に遊ぶことができるようになりました。再び「わんぱく山」で遊ぶことができるようになった子どもたちは、一法師工業様に次のような感想をもちました。

「わたしは、おにごっここのときに、わんぱく山を使うのできれいにしていただきうれしいです。」

「わたしは、わんぱく山で遊ぶのが好きなので、もとどおりにしていただきありがとうございました。」

「わんぱく山を遊べるようになおしてくださりありがとうございました。うれしかったです。」

無償で、「わんぱく山」を整備していただきました、一法師工業の社長様並びに工事に携わっていただきました会社の方々に心より感謝申し上げます。



学校保健委員会への参加ありがとうございました

令和8年6月26日（金）に行われました学校保健委員会におきましては、多くのご家族の方々のご参加を頂きまして、ありがとうございました。学校保健委員会では、スクールカウンセラーの古澤春美先生を講師に迎え、「ゲームの世界から見える子どもの心」という演題でご講話をいただきました。

現在、世界中でゲームやSNSをする時間等についてはたくさんの議論がなされていますが、この講話にありましたように、これらには中毒性があるので、ご家族の方々と、使用する時間の管理をしっかりしていただければと思います。子どもたちが、依存の状態になると医療の力を借りないと治すことができないようになりますので、子どもたちがそのような状態にならないように以下のことを家庭でもお願いします。

【鹿本小学校が推奨するスマホやゲーム等の正しい使い方】

- 1 メディアは1日1時間までを守る。(テレビ・ゲーム・インターネット等)
- 2 家でメディアを使用する際のルールをつくる。
(例)・親の見ている前でインターネット(ゲームも含む)を使用する。
・ゲーム及びSNSの使用は午後8時までとする。
- 3 インターネットに接続する環境を与えるときには、必ずフィルタリングをかける。

また、SNS等で、中学生や高校生と偽って小学生の子どもたちをだまして危険なことに巻き込む大人がいることをご家族の方々からも話していただければと思います。